栄養繁殖系作物のウイルスフリー苗作出と大量増殖法の開発

【研究概要】

多くの栄養繁殖系作物では、ウイルスによる生産力や品質の低下を防ぐため、ウイルスフリー苗の利用が不可欠である。また、挿木・株分け等による増殖が困難である栄養繁殖系作物は、苗の確保が課題である。そこで組織培養によるウイルスフリー苗の作出および大量増殖系の開発を行う試験に取り組んだ。

（１）ブバルディア

① 奇形花発生程度の少ない母株の培養利用による奇形花低減技術を確立するため、「チェリーピンク」の培養苗で冬と初夏の開花調査を行った。発生程度の低い系統の培養苗は、高い系統に比べて奇形花発生が顕著に少ないことを確認した。

② LEDでの培養技術を確立するため、「東京スター クリアピンク」の培養シュートで増殖と発根に及ぼすLEDの影響を調査した。LEDは蛍光灯に比べてシュートの増殖効率は同程度だが、その後の挿し木順化でのシュートの生育と発根は劣る傾向であった。

（２）イチゴ等の培養苗を適宜、継代培養し、維持した。